

(2012 年度) 第 1 回応用地形判読士資格検定試験 二次試験問題

[午後の部]

実技試験の注意事項

- (1) 実技試験の実施日時は、2012 年 12 月 1 日 (土) の 10 時 0 分から 15 時 0 分までとする。
 - ・午前の部：10 時 0 分から 12 時 0 分までの 2 時間.
 - ・午後の部：13 時 0 分から 15 時 0 分までの 2 時間.
- (2) 試験開始後 1 時間は、退場を認めない。
- (3) 解答は、図示を求める問題に対しては [地形図] (地形判読記号を記載した [記号凡例用紙] を含む) に、記述を求める問題に対しては [マス目入り答案用紙] に、それぞれ記入すること。

地形図 (記号凡例用紙を含む) および マス目入り答案用紙 には、受験番号を必ず記入すること。
- (4) 指定した読図範囲について、問題にしたがい読図すること。実体視できる範囲については、読図に加え空中写真判読を行うこと。

これらの結果は、その地形図に図示すること。
- (5) 地形図に記入する地形判読記号および色調は、特に定めない。ただし、使用した記号は、別に配布してある [記号凡例用紙] に記載すること。
- (6) 試験を開始するにあたって、印刷の不鮮明な点がないことを確認すること。
- (7) 試験開始後は参考書籍のほか、携帯電話など電子機器類の使用は一切禁じる。また、携帯電話など音を発生させる機器類は、必ず電源を切ること。
- (8) この注意事項の説明後は、原則として質問に応じない。
- (9) 試験終了後、この問題用紙は持ち帰ってもよい。

ただし、①地形図 (記号凡例用紙を含む)、②マス目入り答案用紙、③空中写真は、机の上に残すこと。

◇ 地形図と記号凡例用紙および答案用紙には、受験番号を記入すること。

《問題》

1. 地形図に太線で指定する範囲について、地形図と空中写真により段丘面を適切に区分するなど、地形発達史を考慮した地形判読・地形分類を行い、その結果を地形図上に図示しなさい。

地形分類記号は任意に設定して、別紙の「記号凡例用紙」に記入しなさい。

2. 次の①および②について、マス目入り答案用紙に合計 800 字以内で記述しなさい。

① 信濃川左岸側において防災上注意すべきこと および その理由.

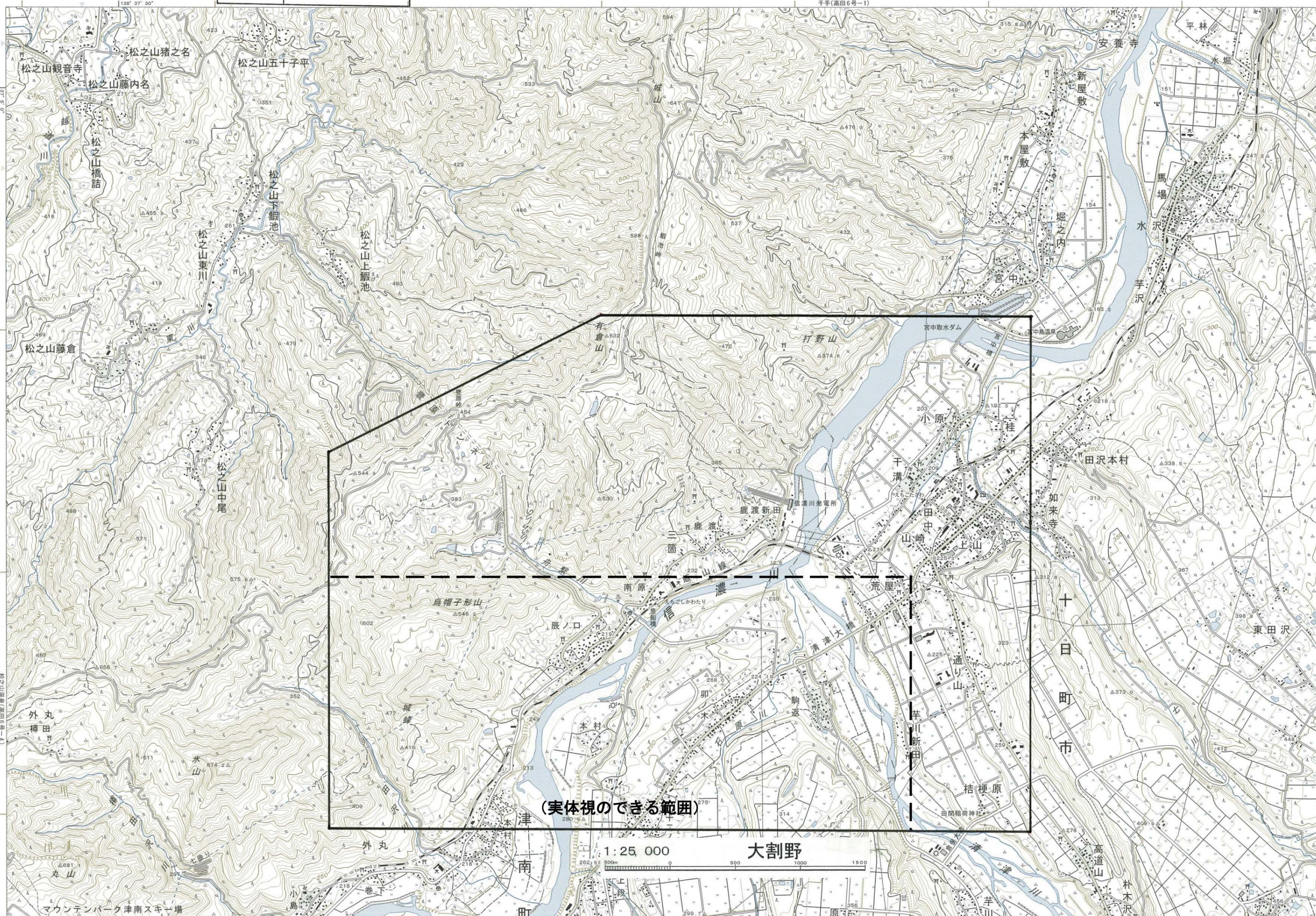
② 信濃川右岸側において防災上注意すべきこと および その理由.

記述にあたっては、必要に応じて、地形図内に適宜記号・番号・着色などを記入してよい。

<参考>

地形図 国土地理院 25,000 分の 1 地形図「大割野」(平成 19 年 6 月 1 日発行)

空中写真 整理番号：MCB-75-02X／コース番号：C11／写真番号：11, 12, 13



(実体視のできる範囲)

1:25,000

大割野

